



スノーフレック

69 編は 指揮者によって、「ゆり」に合わせて と、曲名が「ゆり」と指定されている **ダビデの詩** です。

冒頭から **神よ、わたしを救ってください。大水が喉元に達しました。わたしは深い沼にはまり込み／足がかりもありません。大水の深い底にまで沈み／奔流がわたしを押し流します(2)** と切迫した思いで救いを求めています。しかも「大水、深い沼、奔流」という水に関する言葉があり、不安、混沌、恐怖を示しています。イスラエルの風土は砂漠、荒れ野、海拔-400mの死海が有名ですが、沼地も多く、地形的に多く

の課題を抱えているとのこと。詩人がはまり込んだ深い沼とは **理由もなくわたしを憎む者は／この頭の髪よりも数多く／いわれなくわたしに敵意を抱く者／滅ぼそうとする者は力を増して行きます(5)** と、大義もなく戦いを挑む強大な敵の包囲の中で、身動きが取れなくなっている状況でしょう。

しかし詩人は **神よ、わたしの愚かさは、よくご存じです。罪過もあなたには隠れもないことです(6)** と、自らの弱さ、欠点をも告白しています。信仰者、兄弟姉妹たちから無視され、信頼されていないことを悲しんでいます。その理由として **わたしはあなたゆえに嘲られ… あなたの神殿に対する熱情… わたしが断食して泣けば… 粗布を衣とすれば…(8)** と、詩人の信仰の真剣さが嘲られているのです。詩人の敵は **町の門に座る人 強い酒に酔う者ら(13)** と記されていますから、政治、裁判に関わる有力者でありながら、恥知らずで、知恵のない不遜な人々です。

詩人は苦悩を訴え、救いを求めて祈りますが、**主よ、御旨にかなうときに(14)** と、神の「時」に救いを委ねています。しかし、嘲り、恥、屈辱を受けつつも、祈り続けています。**恵みと慈しみの主よ、わたしに答えてください／憐れみ深い主よ、御顔をわたしに向けてください。／あなたの僕に御顔を隠すことなく／苦しむわたしに急いで答えてください。／わたしの魂に近づき、贖い／敵から解放してください(17)** と、詩人は訴え、敵が自らの悪の **食卓** を囲み **仲間** と楽しんで、それが **畏 落とし穴(23)** となり、敵が見る目を失い、しっかり立てなくなるほど **あなたの憤りを彼らに注ぎ／激しい怒りで圧倒してください(25)** と、神の罰を求め、**命の書から彼らを抹殺してください(29)** と、完全な滅びを強く求めています。

詩人は「大水、深い沼、奔流」に陥っていることは **あなたに打たれた あなたに刺し貫かれた(27)** として、試練と受け止めて、神の救いを待っています。**わたしは卑しめられ、苦痛の中にあります。神よ、わたしを高く上げ、救ってください(30)**。 **貧しい人よ、これを見て喜び祝え。神を求める人々には／健やかな命が与えられますように。主は乏しい人々に耳を傾けてくださいます。主の民の捕われ人らを／決しておろそかにはされなideしう(33)** と、主の憐れみを確信して、賛美をささげています。

『讃美歌 21』は 69 編の「大水、深い沼、奔流」に目を止めて、462「はてしも知れぬ」を関連付けています。 <https://sanbika.blog.ss-blog.jp/2012-05-23>

ジュネーブ詩編歌はリコーダー合奏の美しい曲です [Psalm 69 Genevan Psalter - setting by Claude Goudimel - recorder consort - YouTube](#)